

災害に備えて おうちの中の安全対策 のススメ



みなさん
こんにちは。
赤十字です



今日は、大地震が起きた
「その時」に
身を守るための対策を
ご紹介します。

日本列島や、
その周辺に存在する
活断層の数は、
約2000！

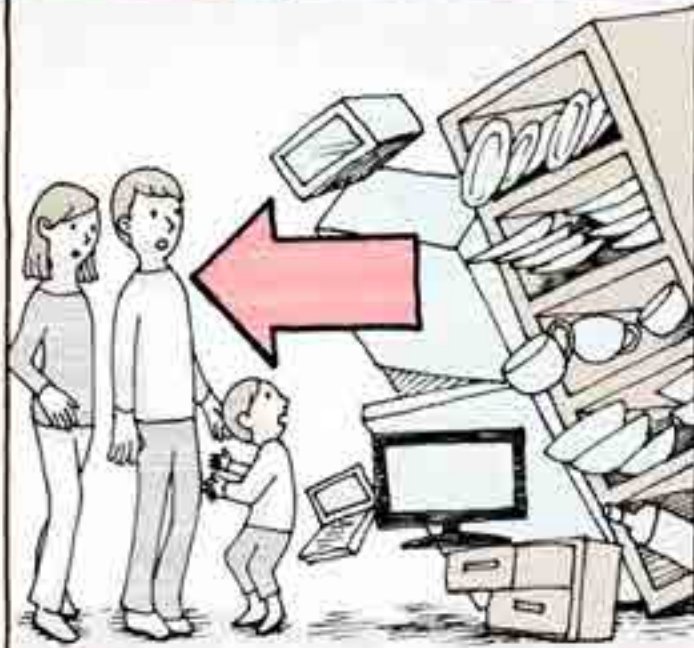
つまり、
「いつ」「どこ」でも
地震におそわれる
可能性があります。

ちなみにみなさんは、
「地震によるケガの原因」は
何が多いかご存知ですか？



家具類の
転倒・落下・移動によるケガが
約**30~50%**！

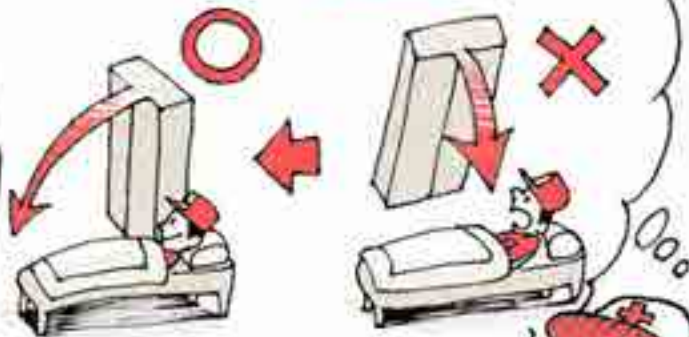
そして、
大地震が起きた時、
家具は「飛び」ます。



家具が飛び交うほどの
強い揺れの中、
「たええろ」「よける」「隠れる」
事は不可能です。



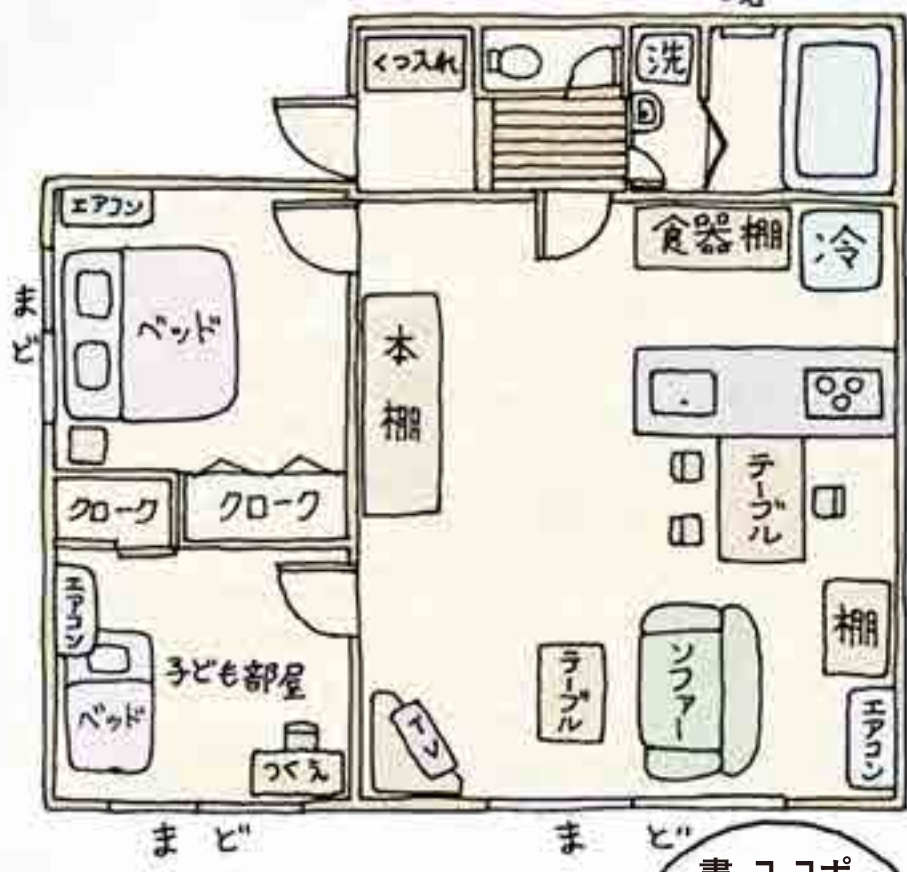
ポイントを押さえながら、
おうちの中の安全対策を
考えてみませんか？



大切なのは、
想像力！



鏡



その①
平面図を
描いてみる

まずおうちの
「どこ」に、なにが
あるかを書きます。

ポイントは
「まど」や
「出口」も
書いておくこと！



その②
×をつける

キケンな箇所や
家具には×

を、付けるの
ですが…

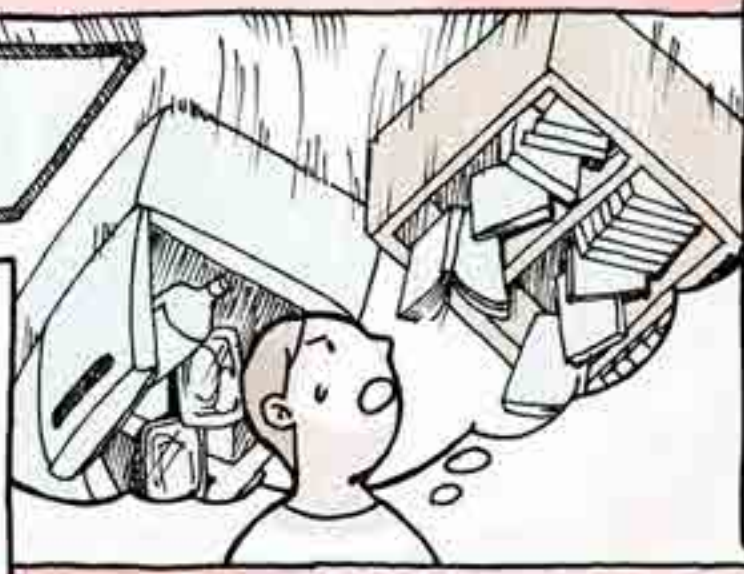


ここで必要なのが
「想像力」

地震が起きた時、
「そこにあるもの」が
「どうなるか？」を
イメージします。



チェック ✓
「倒れてくるもの」



タンスや
本棚、
冷蔵庫に
TVなど。

チェック ✓
「動くもの」



電子レンジや
キャスター付家具
など。

チェック ✓
「落下するもの」



照明、
掛け時計など。

チェック ✓
「割れるもの」

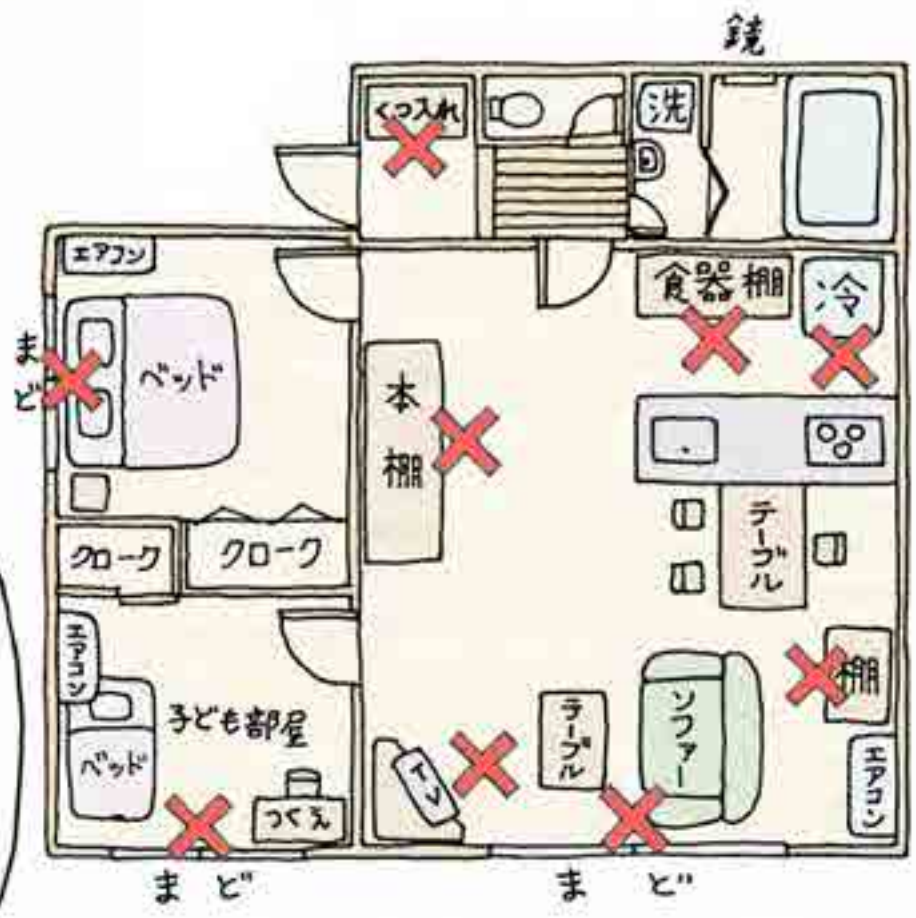


窓ガラス、
姿見、
食器など。

これらは一例ですが、
平面図に×を
書き込んでみると…



家全体のキケンが見えてきます！



実は避難経路(出口)がふさがってしまうことも！

その③
「キケン」な竹園への
対策をする

ポイント①
転倒・落下する家具対策

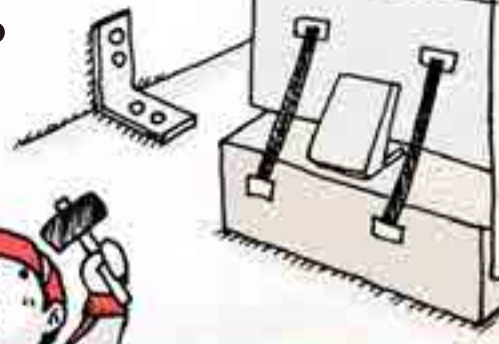
ベストは固定です！

が…

無理な場合、

- ・向きを変える
- ・重いものは下に収納する
- ・落下しそうなものの下で寝ないよう、
- ・ベッドなどを移動する。

「固定」がベスト



これだけでもかなり変わります！



ポイント② 割れる家具対策

まどガラスなどに
ガラス飛散防止
フィルムを貼ったり、

食器の下に
マットを敷いたり
…

足を守るために
「丈夫なスリッパ」などを
寝室に用意しておくのも
OK!

ポイント③ 家具を安全な 場所に配置

避難経路になるので、
出入口や廊下には
「ものを置かない」



おうちの中が安全であれば、
ケガを防ぎ、
すばやく逃げられます！

すぐに安全な場所へ
避難できるように。



おうちの中のキケンと一緒に、
おうちの外のキケンも
考えておいてくださいね。



●屋外

- ・ブロック塀や物置が倒れる
- ・瓦・看板が落ちる

●共用部分

- ・廊下がものでふさがる
- ・エレベーターが停止する

大切な家族を
災害から守るために



キケンな箇所に気付き、
安全対策を考え、
備えてみませんか？



赤十字からの
お願いでした。